

普通科目（音楽科）の学習指導案 17No17

1. 指導目標

- (1) さまざまな音の素材を使って音楽作品を作ることにより、作曲や演奏方法の工夫などのいろいろな活動を通して、音楽を創る楽しさを味わう。
- (2) 私たちの暮らしに必要なメディア表現の中に様々な知的財産があり、音楽についても同様で、著作権法について理解させる。

2. 指導項目・内容

	指導項目・内容	時間(分)	指導上の留意点
導入	本時の学習内容と目標を提示する。	5	
展開	「コードからメロディを作ろう」 ・教科書の掲載曲を鑑賞とコード進行について（循環コード） ・メロディは、コードを構成する音を中心に作られている。	10	・コードとメロディのかかわりについて、いろいろな曲を調べてメロディを作る参考にさせる。
	「音階からメロディをつくろう」 ・教科書掲載「スカボローフェア」 作：サイモン&ガーファンクル	10	・教会音楽のドリア旋法を用いて作られた曲の例として「スカボローフェア」の旋律について理解させる。
	「歌の曲を作ろう」 ・教科書の掲載曲を参考にして、自分で詩をつくり、メロディを付けてみる。 ・著作権法と JASRAC について	15 10	・詩の意味、言葉のもっているリズムを生かす。また強調したい言葉は、反復したり、引き延ばしたりする方法もある。 ・著作権は、死後50年存続する。
整理	次回は作品を発表させて、その感想や批評をすることを予告しておく。	5	作品は、プリントに整理しておく。
備考	音楽 I T u t t i トウッティ（教育出版）p84～89「音楽を創ろう」 意匠編（標準テキスト）p40～41		